

8部

卒業と
資格・免許状
取得のために

1 平成25年度(2013年) 9月卒業希望の方へ

卒業までのスケジュールは、前号の『With』92号 p. 65～66をご覧ください。
7月卒業試験受験により卒業登録となる方への履修状況票は7月19日までに発送しました。

卒業登録者が提出後1カ月以上返却されないレポートがございましたら、通信教育部までお問い合わせ、督促をお願いいたします。また、『With』92号 p. 66でご案内した手続きを行えば9月中に終了するスクーリングを受講して卒業することなども可能にしています（卒業日は9月28日付でなく9月30日付になります）。卒業希望者の最後の奮闘を願っております。

- 9月卒業登録をされている方で、自己都合により9月の卒業を希望しない場合の申し出期限は7月20日まででした。

卒業要件単位未修得者で9月の卒業が難しくなった場合は、そのことがはっきりした時点で至急『With』92号巻末の「卒業延期願」を提出してください（提出しないと10月生の方に学費の納入依頼書が発送されません）。

2 平成25年度(2014年) 3月卒業希望の方へ

- 「卒業試験」の受験について

来年3月卒業希望者は、今回の『With』でご案内した9月以降1月までのいずれかの科目修了試験の際に「卒業試験」を受験する必要があります（「卒業研究」合格予定の方を除く）。

3 社会福祉士 取得希望の方へ

次年度実習申込締切日を9月1日～9月15日に変更します（詳細はp. 94～95参照）。

※旧カリキュラム受講生（平成20年度以前ご入学）は、8/1～8/31での申込みも可能（実習期間H26. 2/1～7/10、H26年度まで実施）。

1 発送物のご案内

『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』2013年度版

※実習免除者を除く。

H24. 12～H25. 2月 「演習A・Ⅰ」受講済者分 7/19発送済

H25. 5～6月 「演習B・Ⅱ」受講済者分 7/19発送済

社会福祉士養成課程履修費(10,000円)納入依頼書(★■演習A受講済者宛て)

6月受講者分 7/9発送済

7・8月受講者分 スクーリング受講後2週間以内に発送予定

納入締切日 9/5(納入しない場合、「演習B」は受講不可)

★■実習指導B-3+演習C-2スクーリング・◆実習事後指導(7/16締切分)

受講許可証 7/20発送済 納入依頼書 7/24発送済

★■演習Cスクーリング(7/27・28開講分)

納入依頼書・受講許可証 6/25発送済

◆★実習巡回指導教員決定通知(実習受講者全員)

すでに全員の方に送付済

◆8月実習申込受講判定結果 9/11発送予定

特講・社会福祉学5・6受講者 毎月1日に「模擬小テスト」を発送しま

す。毎月20日までに提出してください。

2 11月以降の「社会福祉援助技術演習 A・I」の変更とおわび

5/31申込締切の「演習 A・I」について、今年度は大変多くの方に受講条件を達成いただきました。そのために、募集要項記載・厚生労働省に届け出の「社会福祉士養成課程」の受講定員300名について後期の募集を行うと超えてしまうことが予想されます。大学として、養成課程の定員を超えることはできません。つきましては大変申し訳ございませんが、10月末・11月末締切で予定していた11月以降開講の「演習 A・I」募集については、下記のとおりといたします。ご了承ください。

- (1) 10月末締切の11/30・12/1新潟会場の募集を中止いたします。新潟会場での次回「演習 A・I」のスクーリング開講は来年6～8月頃を予定しています（申込締切来年5月末）。
- (2) 11月末締切の1/25・26仙台会場分は、スクーリング日程を来年4月以降に変更して実施をいたします。また、受講定員は40名以内とし、41名以上になった場合は①卒業予定時期が関係する「社会福祉士 実習免除者」として入学された方、②実習受講予定者では入学後の修得単位数が多い方でこれまでの「演習 A・I」を欠席されたことのない方について、優先的に受講できるようにいたします。申込方法は今後の『With』でお知らせいたします。また、この11月末締切の「演習 A・I」スクーリングを受講許可された方については、来年3/15締切の「社会福祉援助技術演習 B・II」の受講要件で、「演習 A・I」の3単位めレポートの提出要件をはずします。
- (3) 「社会福祉士 実習免除者」以外は、来年5月末締切予定の「演習 A・I」申込・受講でも、実習申込や卒業の時期に変更はありません。

3 体験学習について

- (1) 体験学習の免除を希望する方は、9/15までに「実務経験実績報告書」（『実習の手引き 第1分冊』2013年度版 巻末様式5）をご提出ください。
- (2) 平成26年度から、体験学習が有料（3日間1万円を予定）になります。有料化により手続きの変更を予定しています。できるだけ今年度中の受講をお奨めします。

4 「★■社会福祉援助技術演習B・◆演習Ⅱ」のスクーリングの申込みについて

本年9～11月に受講を希望する方は、下記の要領でお申込みください。

申込方法：本冊子巻末「★■社会福祉援助技術演習B・◆演習Ⅱ スクーリング申込ハガキ」の提出

※第2希望にも必ず○をつけてください。

申込締切：9/15必着

受講判定日：9/15・10/15（受講条件が達成されているかを判定します。）

※希望の会場・日程で受講したい場合、9/15の判定で達成された方が有利です。

受講条件：『学習の手引き』3章Ⅳ 4「演習・実習科目の受講条件」参照

日程・会場：詳細は『試験・スクーリング 情報ブック2013』を参照。

※11/9・10盛岡会場を追加開講いたします。会場は、盛岡市内から車で約30分の「岩手産業文化センター アピオ」（岩手郡滝沢村滝沢字砂込389-20 駐車料金は無料）となります。バスや鉄道を利用しても行けますが、車でないと行きにくい会場です。岩手・青森・秋田在住の方などで会場へ自家用車で行ってもよいという場合は、第1希望を

11／9・10の盛岡会場にさせていただきご協力をよろしく
お願いいたします。

※本年4月3年次編入学者を含む3年生以上の方は、今回「★■演習B」

「◆演習Ⅱ」を申込まないと、来年度に実習ができません。

※各締切日後の提出物受理や受講条件の緩和などはありません。

※第2希望が未記入の場合、申込内容の不備として通信教育部で日程・会場を指定しますので、予めご了承ください。

※「社会福祉援助技術演習B・Ⅱ」のスクーリング試験は例年合格率が8～9割で推移しています。

※受講条件の達成だけではなく、①「社会福祉援助技術」ならびに関連知識について学習を進めてから、また、②社会福祉士として実際の現場で活躍することを真摯に希望する方のみが受講申込みをされることを推奨いたします。

※各会場の受講定員に限りがあるため、9／15に条件を達成した方で当該会場の受講定員を超えた場合は、①スクーリング受講料について期限後の納入が2回以上ない方、その他提出物に遅延のない方、②レポートの不正・スクーリング遅刻などで指摘を受けたことのない方、③（それでも決まらない場合は）入学後の修得単位数が多い方について、優先的に希望の会場で受講が可能なようにいたします。ご了承ください。

5 「体験学習・次年度実習ガイダンス」について

平成26年度「社会福祉援助技術（現場）実習」受講希望者は、「体験学習・次年度実習ガイダンス」を平成23年度（平成23年4月）以降に受講していることが必要です。ガイダンス受講が必要な方は、任意の用紙に「体験学習・次年度実習ガイダンス資料希望」と明記し、学籍番号・氏名を記載の

うえ通信教育部まで書面（Eメール・FAX・郵送）でお申込みください。

※ガイダンス受講の代替として、2013年度版の『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』と「体験学習・次年度実習ガイダンス内容確認書」などをお送りします。

※「体験学習・次年度実習ガイダンス内容確認書」を返送してください。

この確認書の到着をもってガイダンスを受講したものとみなします。

※返送がない場合、「体験学習」「実習」の申込みや体験学習免除に係る「実務経験実績報告書（様式5）」提出等ができません。

6 「◆社会福祉援助技術現場実習」（平成20年度以前入学者：旧カリ）の8月申込み

1）8月実習申込み（平成26年度まで実施）

- 対象：平成20年度以前の入学者で、平成26年2月1日～7月10日の期間内で「◆社会福祉援助技術現場実習」をご希望の方
- 申込方法：『社会福祉援助技術実習の手引き（第1分冊）』2012年度版 p. 45～47（または2013年度版 p. 36～37）をご確認の上、平成25年8月31日までにお申込みください。

2）8月実習申込者の実習事前指導スクーリング

- スクーリング日程 12/22 10：00～16：40
- スクーリング会場 本学（仙台）
- スクーリング申込方法：申込みは不要。（12/22の1回のみ開催のため、実習許可になった方に対して、事前指導スクーリング受講許可証を発送します。）
- スクーリング受講料 10,000円
- 受講料納入期限 10/25
- 受講条件・留意点 『レポート課題集2013(社会福祉編)』 p. 199参照。

7 科目等履修生として「実習科目」受講予定の方へ

1 月末までに、①実習科目「★■社会福祉援助技術実習指導 A・B・実習」以外のすべての指定科目を単位修得し、かつ②卒業要件を確定させ、③科目等履修生としての再度の出願を行うことが必要です。実習申込みは 9/15までに「来年度科目等履修生での実習希望」に印をつけて「社会福祉援助技術実習希望届」（『実習の手引き 第1分冊』2013年度版 巻末様式3）を提出してください。7 月末までに「社会福祉援助技術演習 C」を受講していない方は、来年 1 月末までの科目等履修生としての出願はできませんので、正科生として「社会福祉援助技術実習」を受講してください。

なお、「科目等履修生」として実習を受講する方の実習費変更は p. 74 および今後の『With』でのご案内、来年度募集要項でご確認ください。

●平成20年度以前入学者

実習は新カリキュラム基準で行われるため、スクーリング回数・受講料が増え、実習中に巡回指導 1 回、帰校指導 3 回必要などさまざまな意味で負担が増えます。正科生として実習を受講されることを強くお奨めいたします。

8 「★■社会福祉援助技術実習」「◆社会福祉援助技術現場実習」9 月申込みについて

(1) 今年度の「実習申込期間」は、9/1～9/15となります。

※2013年度版『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』巻末の様式をご提出ください。（実習申込希望者で、2013年度版を所持されていない方は、次ページ「9 2013年度版『実習の手引き 第1分冊』について」をご参照ください。）

(2) 実習申込受理条件の判定日：10/31 or 11/30 or 12/20 or 1/31

※実習申込みが受理された方に、各判定日から 2 週間程度で連絡（封書）します。条件が満たせなかった方には、最終受理判定日（1/

31) から2週間程度で連絡(封書)します。

(3) 実習申込受理条件を満たした時点で実習依頼を開始します。

※受理条件については、2013年度版『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』や2013年発行の『学習の手引き』をご参照ください。

※各締切日後の提出物受理や実習申込受理条件の緩和などはありません。

【重要】

- ・社会福祉援助技術実習の実習希望先への実習受入の依頼は、通信教育部で行います。各自で実習先に問い合わせをしないでください。
- ・実習先の指導者要件が厳しくなるなど法律の改正により、実習先が減少しています。そのような状況下で、実習先の種別や実習期間を限定すればするほど、実習先が決まりにくく、決定に時間がかかることが想定されます。実習先が見つからず来年度の実習受講ができない場合もありますので、予めご了承ください。

9 2013年度版『実習の手引き 第1分冊』について

9月の実習の申込み(来年度実習受講)には、2013年度版『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』(紫色)巻末の様式が必要です。

※お持ちでない方は、2013年度版『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』を書面(Eメール uj@tfu-mail.tfu.ac.jp・FAX・郵送)でお申込みください。

※平成23年度(平成23年4月)以降に「体験学習・次年度実習ガイダンス」を受講していない方には「体験学習・次年度実習ガイダンス内容確認書」などを同封します。



10 国家試験受験の手続き

※受験申込みは、すべて学生自身で行う必要があります。

●『受験の手引』の入手方法

受験の申込みに必要な書類（『受験の手引』）を「財社会福祉振興・試験センター」より、以下の方法（「ホームページ」または「郵便はがき」）にて、請求してください。

※ホームページ：

「財社会福祉振興・試験センター」のホームページに請求窓口が開設されます（例年8月頃）。

※郵便はがき：

「はがき」の裏面に、ご自身の「郵便番号」「住所」「氏名」「電話番号」「社会福祉士受験の手引の部数」を大きな文字ではっきりと記入して、「財社会福祉振興・試験センター」に郵送してください（はがきは請求者に『受験の手引』を送付する際の「あて名ラベル」として使用されます）。

【問い合わせ先】

財団法人 社会福祉振興・試験センター

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6

試験案内電話：03-3486-7559(24時間対応)

試験室電話：03-3486-7521(9時30分～17時)

ホームページ：<http://www.sssc.or.jp/>

●証明書の申込方法

- (1) 受験申込みの際に指定科目の履修証明書が必要になります。証明書は、8月1日～9月25日までに通信教育部に申請してください。

(2) 「卒業見込」の証明を含みますので、発行時に「卒業単位90単位以上」の修得が必要です。

(3) 『学習の手引き』または『With』巻末の「各種証明書申込書」で申請してください。

※発行手数料分の定額小為替（郵便局発行）および返信用封筒（サイズ長形3号・80円切手貼付・返信先明記）を同封。

※『受験の手引き』内の様式は同封する必要はありません。

(4) 証明書の種別は以下の通りです。

●正科生（学科に所属の方）の証明書種別

「社会福祉士指定科目履修見込証明書（卒業見込証明書を含む・国家試験受験用）」 手数料 500円（定額小為替）

- ・9月に卒業を予定する方も卒業日（9月末）を待たずに、「見込」証明書をお申込みください。卒業日（9月末）から受験の申込締切日まで余裕がありません。
- ・実習免除者も同じ種別の証明書を申請してください。

●科目等履修生（実習科目のみ受講の方）の証明書種別

次の①②とも忘れずに申請してください。

①「社会福祉士指定科目履修証明書（卒業証明書を含む・国家試験受験用）」 手数料 500円（定額小為替）

②「社会福祉士指定科目（実習科目）履修見込証明書（科目等履修生・国家試験受験用）」 手数料 300円（定額小為替）

- ・通学課程の卒業生は、①を通学課程教務部に、②を通信教育部に申請してください。
- ・通学課程教務部に発行手数料などを各自で問い合わせてください。

4 精神保健福祉士 取得希望の方へ

◆★：旧カリキュラム（平成23年度以前入学者）

■：新カリキュラム（平成24年度以降入学者）

精神保健福祉士関連メールでのお問い合わせ先：psw@tfu-mail.tfu.

ac.jp



1 発送物のご案内

◆★国家試験受験者へのご案内（今年度精保国試受験予定者） 7/18発送済み ※8/1までに未着の場合、書面にて精保実習係宛にお申し出ください。

◆★特講・社会福祉学7（精神保健福祉士対策講義B）の受講のご案内（今年度精保国試受験予定者で未履修者） 8/1発送済 ※スクーリング開講日10/19(土)・20(日)（『試験・スクーリング情報ブック2013』p.132・133参照）

■精神保健福祉援助演習B-1・実習指導A-1 受講許可通知（今年度「■精保実習A」受講予定者） 7/4発送済

■平成25年度精神保健福祉援助演習・実習シラバス『レポート課題集2013 社会福祉編』別冊（新カリキュラム）の正誤表（「■精保演習B・精保実習指導A」の受講予定者） 7/18発送済

■精神保健福祉援助実習A「実習受入内諾回答書（写し）」、「実習日程カレンダー」（今年度「■精保実習A」受講予定者で実習受入の内諾が取れている方）、「実習計画案」「実習計画書」の各様式 7/18発送済

■『精神保健福祉援助実習A課題ノート』（■精保演習B・精保実習指導Aの受講予定者） 7/22発送済

- 「精神保健福祉援助実習B希望届」・「学習計画書（新カリキュラム2012年度以降カリキュラム受講者用）」・「実習課題レポート」の各様式（次年度「■精保実習B」受講希望者） 8/8発送予定

2 ◆★精保演習申込について

3年生以上で、すでに「◆★精保演習」のスクーリング受講条件（『レポート課題集2013(社会福祉編)』p. 236参照）を満たしている方、および10/15までに条件を満たす見込みの方は、9/15までに本冊子巻末の「◆★精保演習受講希望届」用紙に必要事項を記入して申込みを行ってください。受講希望日欄には必ず第2希望（第1希望と同一は不可）まで○をつけてください。

開講日程は本冊子p. 39「その他、別に申込み案内のある科目」参照。

なお10/19・20の「◆★精保演習」受講希望者は『With』91号p. 71で訂正された『レポート課題集2013(社会福祉編)』の受講申込受理条件ならびに単位修得方法を再度確認の上、学習を進めてください。

3 ◆★精保実習（平成26年度7～12月期）申込について

次年度7/1～12/25の期間の「◆★精保実習」の受講を希望される方は、9/15までに「精神保健福祉援助実習希望届【様式3】」「学習計画書（旧カリキュラム：2008年度以前・2009年度以降～2011年度カリキュラム受講者用）【様式4-1・4-2裏表】」「実習課題レポート【様式14】」を提出してください。

なお、上記の様式は「◆★精保演習」受講時に『精神保健福祉援助実習の手引き』の巻末の様式として配付されますが、今年度10月・11月に「◆★精保演習」のスクーリング受講希望者へは、すでに『With』90・91号

の p. 70において案内のとおり申請者にたいし上記様式のみを配付しています。まだ申請していない方は8/9までに所定の様式にて精保実習係宛お申込みください。

4 ■精保演習A

今年度6/29・30と7/6・7の「■精保演習A」受講者の2単位めしポートの提出期日は7/31で締め切りました。

5 ■精保演習B・■精保実習指導A

1)『精保実習A課題ノート』

8/31・9/1ならびに9/21・22の「■精保演習B」「■精保実習指導A」受講希望者へ『精神保健福祉援助実習A課題ノート』を送付しています。「Ⅲ 事前訪問までの準備」p. 3～17をすべて完成させて受講日初日に持参して提出してください。

※「実習免除者」も「Ⅲ 事前訪問までの準備」p. 3～17までを完成させて8/31・9/1または2/1・2の「精保演習B」受講日初日に持参して提出してください（7/18発送の■平成25年度精神保健福祉援助演習・実習シラバス『レポート課題集2013 社会福祉編』別冊（新カリキュラム）の正誤表を参照のこと）。

2)「実習計画案」

7/18に発送済の「実習受入内諾回答書（写し）」から実習先を確認の上、同送の「実習計画案」（【様式4-1】：初回提出分）にて「実習計画案」を作成し期日までに提出してください（下記 **変更のご案内** 参照）。

変更のご案内

前号『With』92号のp. 38の中段に記載の「■精神保健福祉援助演習B (B - 1) + 精保実習指導A (A - 1) (3年以上)」の精保実習指導Aの事前課題提出締切日を下記のとおり変更します。

(誤) 指導A : 課題1-① (実習計画案) 提出締切り 7 / 31



(正) 指導A : 課題1-① (実習計画案) 提出締切り 8 / 5

※併せて『試験・スクーリング情報ブック2013』『平成25年度 通信教育部カレンダー』を下記①②のとおり変更します。

① p. 13 7 / 31(水) ■精保実習指導A スク事前課題提出締切 (8 / 31・9 / 1 受講者)



p. 15 8 / 5(月)へ変更

② p. 15 8 / 21(水) ■精保実習指導A スク事前課題提出締切 (9 / 21・22受講者)



p. 15 8 / 26(月)へ変更

※ 「■精保演習B」「■精保実習指導A」の事前課題等の詳細は、■平成25年度精神保健福祉援助演習・実習シラバス『レポート課題集2013 社会福祉編』別冊ならびに正誤表をご確認ください。

6 ■精神保健福祉援助実習Aについて

1) ■精保実習Aの実習日程調整

今年度「■精保実習A」受講予定者で実習受入の内諾が取れた方へ「実習受入内諾回答書の写し」「実習日程カレンダー」を7 / 18に発送してい

ます。同送の指示書に従い実習担当者と直接日程の調整を行い、「実習日程カレンダー」を遅くとも8月末までに精保実習係宛に提出してください。

2) ■精保実習A受講申込受理条件の達成について

8/20受講申込受理条件（演習受講時ならびに郵送個別配付の「精神保健福祉士取得の学習の流れ」ならびに■平成25年度精神保健福祉援助演習・実習シラバス『レポート課題集2013 社会福祉編』別冊p. 3・4の「■精保演習Bスクーリング受講申込受理条件」参照）を達成してください。「■精保実習A」の「実習受入内諾回答書の写し」「実習日程カレンダー」が送付され具体的実習日程が調整されても、あくまでも8/20の受講申込受理条件の達成が前提となります。受入内諾後に条件未達成による実習辞退は、受入先に迷惑を与えるばかりか今後の受入にも影響しかねません。くれぐれも条件を満たすよう計画的に学習を進めてください。



7

■精神保健福祉援助実習B（医療機関実習） 申込について

今年度「■精保実習A」の受講予定者で、次年度に「■精保実習B」の受講希望者へ「精神保健福祉援助実習B希望届」「学習計画書（新カリキュラム受講者用）」「実習課題レポート」の各様式を送付します（8/8発送予定）。「■精保実習B」受講希望者は9/15までに申込（上記3つの様式の提出）を済ませてください。

5 教職免許状 取得希望の方へ

本冊子 p. 9～11の荒川圭介先生からのメッセージをお読みいただき、教職免許状取得・実習受講にあたっての気持ちを新たにしていいただければ、と存じます。

1 「実習」関連各種発送状況について

下記のものを送付しています。未着の場合は大至急ご連絡ください。

8 / 3・4「障害者(児)教育実習の事前指導」スクーリング関連

- ・「教科書（障害者教育実習の手引き 改訂 第31版）」→ 発送済
- （障害者(児)）教育実習関連
- ・「(障害者) 教育実習について」, 「実習希望校への打診と訪問について」, 「提出書類記入見本」, 「内諾依頼状」, 「内諾書」, 「個人調査票」, 「返信用封筒」→ 「内諾依頼状」発行条件を達成した方で登録カードを事務室へ送付した方へ随時
- ・「実習受講許可証」, 「実習日誌（ただし平成21年8月以前の事前指導受講者には、配付済）」→ 実習受講条件を達成した方へ随時
- ・「実習確認書」→ 実習校から内諾書が届いた方へ随時
- ・「事前指導スクーリング免除通知」→ 免除申請が受理された方へ随時

高等学校福祉科・教育実習関連

履修カルテ（10月生） 9月10日ごろ発送予定

※高等学校教諭一種免許状（福祉）希望で「教育実習」「教職実践演習（高）」受講希望者で「履修カルテ」をこれまでに提出したことのない

方は、学籍番号・氏名・履修カルテ希望を明示のうえ、書面（メール・FAX）でお申し出ください。

2 平成25・26年度実習受講の方へ

北海道や東京都、仙台市近郊での教育実習受入れについて、特別なルールが定められています。

■北海道内で26年度特別支援学校での教育実習希望者

実習申込みは7月で終了しました。

■東京都公立学校での26年度教育実習希望者

東京都公立学校での26年度高校福祉科あるいは特別支援学校教諭免許状取得のための実習希望者は、今年9月15日までに通信教育部に対して、書面でお申込みください。

なお、1）高等学校卒業時まで東京都内在住の方、2）東京都公立学校採用候補者選考試験を受験予定の方など申込みにあたって条件があります。条件を満たす方でも、26年度実習受入れが可能かどうかは未定です。

■仙台市とその周辺の下記7特別支援学校での26年度実習希望者

- ・光明支援学校 ・利府支援学校 ・名取支援学校 ・聴覚支援学校
- ・鶴谷特別支援学校 ・船岡支援学校 ・いずみ高等支援学校

①氏名 ②住所・電話番号・（あれば）メールアドレス ③所持している基礎免許（幼・小・中・高や教科）④実習希望の学校での主たる領域（知的障害・肢体不自由・病弱・聴覚障害）⑤実習希望校 ⑥特に配慮が必要な事項（特別な事情がある場合の方のみ）⑦実習希望時期（26年度5～7月か、10月以降か）とそのための学習計画を郵送で大至急提出してく

ださい。

兵庫県，広島県，北九州市など，その他にも実習受入れに前年度に特別な手続きを要する地域があります。また，仙台市内でも特別支援学校での実習先が非常に混んでいる現状があります。

実習先への「内諾依頼状」発行がまだの方は，受講条件を満たして『レポート課題集2013（心理・教職編）』巻末の「登録カード」を送付してください。詳細は下記ページ参照。

- 介護実習 『レポート課題集2013（心理・教職編）』 p. 159～163
 - 福祉科教育実習 『レポート課題集2013（心理・教職編）』 p. 178～179
 - 障害者教育実習 『レポート課題集2013（心理・教職編）』 p. 251～252
- いずれの実習も事前指導スクーリングの受講手続きは別途必要です。

卒業生からのメッセージ

卒業生からのメッセージをご紹介します。

●進路・学んだことをいかしていること

- ・通信教育部で学び、資格を取得してから福祉関係の仕事に就きました。働き始めて3年、相談員としては半年ですが、学んで得たことや資格を取得できたことが、今の仕事にとっても役立っていると感じています。学び始めたころは、自分にできるのかとても不安でしたが、今は大学で福祉を学び、資格を取得できたことを誇りに思い、感謝しています。
- ・福祉や医療分野にいる限り、新しい物事が限りなくあります。新しいことに次々に対応できる力も重要であると感じます。家族以外の人の手をかりる立場となり、話をよく聞き、あらゆる方法を考えてくれることがいかに大切であるかを感じさせられています。
- ・「社会福祉とは何か」真剣に向き合うことができました。その結果、福祉サービスを提供する際に、全く迷いがなくなりました。在学中に学んだことは、今後の人生および日本の福祉に、必ずや役立てます。
- ・山のようなレポートをクリアすると、社会問題に対する捉え方が変わり、自分の考えが整理されています。私の場合、就職試験に小論文があった為とても役立ちました。
- ・地域の精神保健ボランティアをしています。色々なボランティアをしてきましたが、福祉心理学を系統的に学べたことは、何より自身の土台になり自信となって人としての幅を広げてくれたのではないかと考えております。寛容になりました。単に歳のせいかもしれませんが、そうではないと思いたい。
- ・社会福祉の成り立ちから現在までを体系的に学んだことは、仕事の視点をかなり広げてくれました。医療のものの考え方に、生活を支える福祉の視点が加わり、かなり幅広く、利用者に沿った支援ができていけるのではないかと、今後の自分自身に期待。
- ・学んだことは、児童・青年期精神科において、発達障害児の看護に役立っている。また心理士の検査所見に関し、より専門的視点で理解することができる。現在は臨床発達心理の勉強中である。
- ・私自身は精神保健福祉士として精神科病院に勤務し、10年になりました。勤務する中で、視点を広げ知識や専門性の向上の必要性を感じ、心理学科に入学しました。認定心理士や産業カウンセラーの授業を通し、これまでの業務や視点を振り返り学ぶことができました。

- ・ 5年前に卒業し、資格を取得しました。それ以来、おもに精神障がいの方たちのグループホームや就労支援施設で働いています。この仕事は、障がいのある方たちとはもちろんですが、自分と向き合わなければならない仕事のように感じています。勉強不足を痛感しますし、経験を積み、成長していけたらと思っています。
- ・ 卒業と同時に社会福祉士の国家資格を取得、すぐに求職活動して社会福祉士必須条件の仕事に就けました。現在は、市長村福祉事務所の受託事業で生活保護の支援にかかわっています。
- ・ 社会福祉士および精神保健福祉士の資格を活用し、医療相談室、患者相談窓口責任者として一般病院で就業中。卒業した際の充実感、また、国家試験（社会福祉士・精神保健福祉士）に合格したときの喜びは今でも忘れません。そして、スクーリングで知り合えた仲間たちに感謝しています。
- ・ 実践論を学ぶことができましたお蔭で、卒業後日本年金機構を始めとした公職及び、開業社労士として障害年金受給支援を担当させていただいております。卒業した年齢は57歳でしたが、福祉の現場は人材不足であり、日々勉強を続けながら超多忙な仕事の山と格闘しております。
- ・ 社会福祉士会での活動を通して、つながりを広げ、もっと深い知識を身に着けられるように頑張っています。東北福祉大出身というのが役に立つことも多いです。また、成年後見人の活動も、社会福祉士会の「ばあとなあ」に所属することで関わっています。
- ・ 高齢者福祉でお世話になりました中里先生の言葉が強く心に残っています。「迷いながら前に進む、不安な思いも大切なこと」、常にこれで良いのから考えることは大事だと、仕事に対する自信喪失の私にこのような言葉を送ってくださいました。今もこの言葉が心の支えです。
- ・ 父親が視力障害者（1級）で、福祉サービスの手続きや福祉用具の選び方などについて助言でき、実際に大学で学んだ福祉の知識が役立っている。今は社会福祉関係以外の仕事をしているが、市役所の相談員か医療機関のソーシャルワーカーなどへの転職も考えている。
- ・ 今の仕事をしながら、先生がおっしゃっていた「誕生からの一生にかかわっていける仕事」という意味が実感できており、本当に良かったと思っています。スクーリングに積極参加して先生と話す、聞くことはとても大事だと思います。
- ・ 演習Cのスクーリングで国家試験に向けての姿勢を学び、後はひたすら毎日勉強しました。あんなに真剣に学んだのは後にも先にも東北福祉大学の通信教育でした。

皆様の励みになれば幸いです。